

烏山地域 タウンミーティング

～ より良い地域づくりを考える～



6月～9月

車座集会

Step
01

烏山地域内の3つの地区で開催。
計72名が参加。

反映



タウンミーティング

Step
02

- 車座集会で出た意見
- 地域経営方針素案

反映



(仮称) 地域経営方針

11月

車座集会での各地区の意見紹介

上北沢まちづくりセンター

1 防 災

杉並区境において、世田谷区と杉並区が協力して防災力を向上

敷地の広い都立松沢病院との広範な連携協力

一時避難所に指定されている大学グラウンドにおける防災訓練

夜間も営業しているコンビニエンスストアへのAED配置等

上北沢まちづくりセンター

2 まちづくり

まちづくり協議会など地域住民の主体的な活動への支援

町会・自治会の加入率の低下

京王線連続立体交差事業における高架下の利用と側道の整備

交通事故防止対策と駐輪場の整備等

上北沢まちづくりセンター

3 子ども

生活困難な子どもへのサポートを福祉に位置づけ、将来の投資に
子どもの不登校対応として、児童館や健康づくり課の連携はあるが、
小・中学校における子どもの居場所づくりを
若い世代が世田谷区に在住できる対策等

上祖師谷まちづくりセンター

都営住宅では、震災時に停電になると、エレベーターや給水設備が使用できなくなる。また、最近の住宅建替えで高層化となったが、階段の昇り降りが出来ない高齢者も多く、自力では避難所に行くことができないなど、震災時の生活が心配だ。

自助、共助、公助を考える

- 自分の命を自分で守るには
- 自分たちのまちは自分たちで守ろう

自分の命を自分で守るには

- 災害時にどうするか、家族みんなでの話しあい。
- 自宅に被害がなければ、自宅で過ごす。
そのための備え。家族や親戚を頼る。
- 食料や水、トイレの備蓄。

自分たちのまちは自分たちで守ろう

- 隣近所との声かけや助けあい。
- 町会自治会による地域での助けあい。

烏山まちづくりセンター

車座集会では、放置自転車への対策を求める声があった。

自転車はあらゆる世代が利用できる便利な乗り物なので、マナーを守って共存できる方策を引き続き検討していきたい。

烏山まちづくりセンター

車座集会では、防災資機材助成について問い合わせがあった。

11/25の烏山地区防災塾で、在宅避難を行うための備えを学び、ご近所同士で助け合って生き延びる術「共助」を、皆でワークショップ形式により考えていく。

テーマ別の意見交換

(仮称)鳥山地域経営方針 素案

「まちがつながる、人をつなぐ」

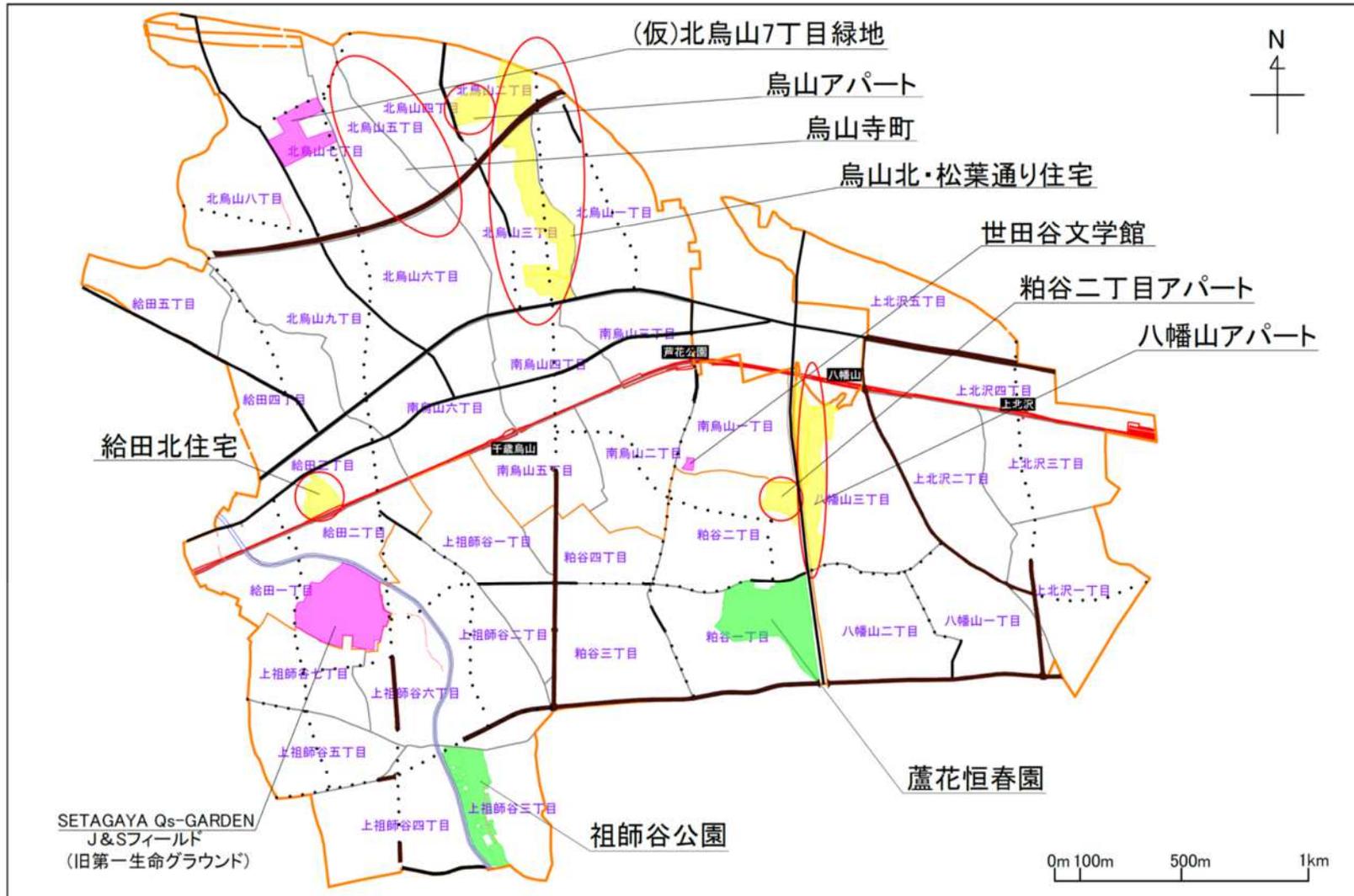
(仮称) 烏山地域経営方針 素案 ~ 方針 ~

烏山地域は、京王線の連続立体交差事業や都市計画道路等の整備、大規模な団地の建て替えが進められており、ハード面での街並みがダイナミックに変化していく時期を迎えています。

線路が高架でつながり、道路がつながるといふハード面のつながりに加えて、人と人がつながることも、あわせて大事にしていきたいと考えています。

世田谷区内の5つの地域の中では最も規模が小さく、地域としてまとまりやすいところも烏山地域の特徴です。区民や団体、事業者との意見交換や協働の取組みを進めながら、「まちがつながる、人をつなぐ」ことを大切に、地域のみどりや文化資源の保全に努め、住みやすく愛着のもてる地域づくりを進めていきます。

(仮称) 烏山地域経営方針 素案 ~ 烏山地域の概要 ~



(仮称)烏山地域経営方針 素案～車座集会ご意見の反映～

○車座集会におけるご意見により課題を加筆

協働のまちづくりを進めるため、住民の声をより一層、丁寧に聞きながら、区民主体のまちづくりを進めていく必要があります。

引き続き、地域のみなさまの声を丁寧に聞いてまいります。

(仮称)烏山地域経営方針 素案 ~ 3つの柱 ~

- (1) 武蔵野の面影を残す自然と文化の落ち着いた中で
安心と安全をともにつくるまち
- (2) 地域がつくる、活気あふれる賑わいと笑顔のあるまち
- (3) あらゆる世代がいきいきと元気で暮らせるこころの
ふるさと烏山

(仮称)烏山地域経営方針 素案

(1) 武蔵野の面影を残す自然と文化の落ち着いた中で 安心と安全をともにつくるまち

(課題)

- ・京王線連続立体交差事業、大規模団地の建替え等を活かして、地区特性に応じた街づくり推進により、安全で魅力的なまちづくりを推進していく必要があります。
- ・みどり率が減少している中、地域資源(緑地、文化等)を活かした取組みを更に推進していく必要があります。

(仮称)烏山地域経営方針 素案

(1) 武蔵野の面影を残す自然と文化の落ち着いた中で 安心と安全をともにつくるまち

(まちの将来像と課題への対応方針)

- ・京王線の連続立体交差事業を契機に商業や南北間の交流などの機能を充実させ、区の北西部を支えるにぎわいの形成を図るとともに、安全で快適な歩行者空間の整備を進め、総合的な街づくりを進めます。
- ・都市基盤の整備を進めるとともに、公共交通不便地域の移動環境の改善に努め、安全で災害に強いまちづくりを進めていきます。
- ・緑豊かな資源を活かした、安心して住み暮らせるまちづくりを進めます。

(仮称)烏山地域経営方針 素案

(2) 地域がつくる、活気あふれる賑わいと笑顔のあるまち

(課題)

- ・まちが変化していく機会を捉えて、賑わいのあるまちづくりにより人々の交流を活発化させ、地域力を向上していく必要があります。
- ・自助、共助のコミュニティをより充実させて、緊急時や災害などに備える必要があります。

(仮称)烏山地域経営方針 素案

(2) 地域がつくる、活気あふれる賑わいと笑顔のあるまち

(まちの将来像と課題への対応方針)

- ・区民主体の様々なイベントや町会活動、趣味のサークル等で生まれるネットワークづくりを進め、地域コミュニティを醸成させていきます。
- ・地域の歴史や文化に触れる機会を増やすとともに、地域キャラクター「からびょん」を活用した事業を進めるなど、地域に愛着を持てるような取り組みを進めていきます。
- ・避難所運営委員会や各町会の防災活動と連携するとともに地域の多様な力を集めて在宅避難を推進し、避難行動要支援者を支え、地域防災力を向上させていきます。

(仮称)烏山地域経営方針 素案

(2) 地域がつくる、活気あふれる賑わいと笑顔のあるまち



烏山地域キャラクター「からびょん」

- ハシブトガラス小学校1年生の女の子
- 住んでいるところは烏の杜(からすのもり)
- 性格は、好奇心いっぱい。大事なものをすぐかくしちゃうけど忘れちゃう、おっちょこちょい
- 好きなことはおしゃれをすること、おまつりにいくこと
- 好きな食べ物は、烏山地域の畑で取れた野菜の漬物

平成25年10月に誕生。今年は誕生10周年

(仮称) 烏山地域経営方針 素案

(2) 地域がつくる、活気あふれる賑わいと笑顔のあるまち



蘆花まつりでのからびよんグッズ販売



ステージ上で生誕10周年のお祝い

(仮称)烏山地域経営方針 素案

(3) あらゆる世代がいきいきと元気で暮らせるこころの ふるさと烏山

(課題)

- ・住みやすい地域をつくるため、「子ども、障害者、高齢者等を見守るネットワーク」の深化とともに、子どもから高齢者、困難を抱える人などが地域の活動や見守りにつながる支援が必要です。

(仮称)烏山地域経営方針 素案

(3) あらゆる世代がいきいきと元気で暮らせるこころの ふるさと烏山

(まちの将来像と課題への対応方針)

- ・子どもから高齢者まで、年齢や障害の有無にかかわらず、誰もが自分らしく、自分の思いを語ることができ、耳を傾けることができるまちを目指し、地域包括ケアの地区展開を引き続き推進します。
- ・誰にとっても、安心できる居場所や人とのつながりが持てるような取組みを進め、安心してのびのびと過ごせる地域をつくっていきます。

(仮称)烏山地域経営方針 素案

(3) あらゆる世代がいきいきと元気で暮らせるこころの ふるさと烏山

(まちの将来像と課題への対応方針)

- ・つながり支えあう地域の実現を目指して、分野・領域を超えた、区民や民間事業所、支援者のつながりを構築し、「絆つながる地域包括協働体 つなぐ烏山」の取組みをはじめとした、地域の絆を強くするための環境づくりを進めます。
- ・地域をつくり支える存在である区民や団体が自ら意見を述べ、情報を発信・共有できるように、幅広い世代や多くの団体が地域の課題に主体的に向き合い、互いに協力して自治を進められるように支援します。

(仮称)烏山地域経営方針 素案 ~ 今後 ~

○今年度中に策定します。

これまでも、様々な意見をお寄せいただき、ありがとうございました。

地域のみなさまの声を丁寧に聞きながら、烏山地域経営方針をみなさまと一緒につくってまいりますので、引き続きよろしく願いいたします。

発言にあたってのお願い

テーマについて発言されたい方は、まず、挙手をお願いします。

・指名は、区長よりさせていただきます。

・指名された方は、お住まいの町名、例えば「二丁目の～です」というように、町名とお名前をおっしゃってください。

・在勤、在学の方は、「二丁目に勤務または在学の～」というように、勤務地・学校の所在地の町名とお名前をおっしゃってください。

・ご発言は、一人3分以内でお願いいたします。

・「1分前」のお知らせを掲げましたら、お話をまとめていただきますようお願いいたします。時間になりましたら「終了」のお知らせをいたします。

・一度発言された方で、再度、発言されたい方は、全員のお話が終わったあとに、お時間があればお願いいたします。

地域防災力の向上

～ 在宅避難を推進するには～



令和5年9月11日開設 避難情報や避難所の開設情報など様々な情報や、
平時においても日頃からの備えに役立つ情報を掲載

烏山地域の指定避難所

9 か所

上北沢小 八幡山小

芦花小・中 上祖師谷中

烏山小 烏山北小 給田小 武蔵丘小

烏山中

指定避難所の受入れ人数には限りがある

震災時の避難はこうする

周囲の危険がないことを確認したら

余震が収まり火災などの危険がないことを十分確認して

自宅の安全を確認

自宅が安全である

在宅避難

被災していない家族、
親族、知人へ連絡が
取れる

縁故避難

自身で被災していない
宿泊施設を確保できる

自主避難

火災や倒壊によって
自宅で過ごすことが
できない

指定避難所

震災時の避難はこうする

避難所に行くことだけが避難ではありません

避難所はスペースや備蓄が限られており、環境の変化などによって体調を崩す人もいます。また、過密状態になると感染リスクも高まります。自宅で生活できる状況であれば、**在宅避難**をしましょう。そのために、日ごろから住宅の耐震化や家具の転倒・落下・移動防止を行い食料や水など必要なものを備えておくことが大切です。また、自宅に被害がある場合でも、被災していない家族や親戚、知人の家に避難する**縁故避難**や、被災していない宿泊施設を自身で確保して避難する**自主避難**という方法があることを知っておきましょう。事前に話し合いや情報収集をしておくことが重要です。

在宅避難のススメ

在宅避難のススメ

避難所に行くことだけが避難ではありません。避難所はスペースや備蓄が限られており、環境の変化などによって体調を崩す人もいます。火災などの危険がないことを十分確認し、自宅が安全な場合は、在宅避難をしましょう。

自宅の安全を確認しましょう

- ドアは開きますか？
- 柱に傾きやヒビはありませんか？
- 近所で火事が起きていませんか？



問題がなければ

→ **在宅避難** が

できます。

※自宅が倒壊するおそれがあるなど避難が必要なときは、すぐに自宅外へ避難をしましょう。



在宅避難

- 住み慣れた環境で家族やペットと過ごせる
- プライバシーが確保できる
- 感染症のリスクが低くなる



避難所生活

- 十分な居住スペースが取れない
- 慣れない集団生活
- 感染症のリスクが高くなる

在宅避難って？

大きな災害が発生したときに、自宅に倒壊や火事等の危険がない場合に、避難所に行かずに「慣れ親しんだ自宅で」生活を続けることです。

災害時に必ずしも避難所に行かなければならないわけではありません！

在宅避難のメリット

住み慣れた環境で家族やペットと過ごせる

プライバシーが確保できる

感染症のリスクが低くなる

在宅避難には準備が必要です

- ・非常用の食料や水、トイレを備蓄しておきましょう
⇒ 備蓄を少しずつ入れ替えていく「ローリングストック」なら比較的カンタンです
- ・家具の固定や片づけを日ごろからしておきましょう
⇒ 自宅の危険箇所をチェックし、住まいの耐震化、家具類の転倒・落下・移動防止などを行いましょ



在宅避難について詳しくはコチラへ

鳥山総合支所 地域振興課 地域振興・防災TEL 03-3326-9249 FAX 03-3326-1050

「在宅避難」



在宅避難のチラシ

地域防災力の向上に向けて

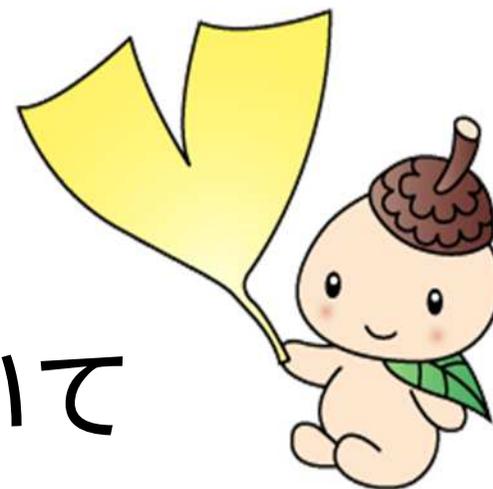
- ・**危機管理監、副参事の配置**
- ・**年度内に在宅避難支援リーフレット配布**

つながり支えあう地域を目指して

～世代を超えて、様々な特性や考え方を理解・尊重するためには～



つなぐ烏山 について



つなぐ鳥山 とは？

～ 分野や地区の垣根を超えて、地域でつながる ～

『つながりたいをつなぐ』

正式名称：絆つながる地域包括協働体 つなぐ鳥山

地域共生社会の実現に向けて、それぞれの分野の状況や課題などの情報共有を行い、連携できることや一緒に取り組めること等を話し合い、つながっていきたい。

まずは、支援者から始めています！

つなぐ烏山 の主な取り組み

①当事者の方が講師を務める「心のバリアフリー研修」

行政・各種団体や施設・NPO・住民等関係者が分野横断的に顔を合わせる「烏山交流・名刺交換会」

地域資源の発掘と烏山地域の団体同士がつながる活動

[時つなぐ地域包括協働体つなぐ島山会]
心のバリアフリー実践マニュアル

知ってください、わたしたちのこと。

精神障害のある人たちとつながるために

たとえば、こういうことに困っています。



孤立・孤独



片付け



不調



仕事が続かない

たとえば、こういうことが苦手です。



待つこと



難しい手続き



たくさんの情報



時間管理

実は「助けてください」のサインだったりします。



パニック



泣く



固まる



こだわる

○この冊子は、2020年12月に行われた「心のバリアフリー研修」をもとに作成し、
2023年10月に改訂しました。
○お手伝いが必要なとき、ぽーとからすやま（TEL 5357-8760）まで
お知らせください。



「心のバリアフリー研修」

精神障害の当事者に講師をお願いして、日ごろの生活での困りごとや、パニックになっている時はどのような心理状態なのか、などを当事者の目線で話してもらいます。

心のバリアフリー実践マニュアル

「烏山交流・名刺交換会」



烏山地域の取り組みを連携して進めるために、地域の方々・行政・各種支援団体や施設・NPO等関係者が分野をこえて顔を合わせる企画です。

今年6月に開催した名刺交換会。
グループワークで地域の課題を話し合いました。
(52団体約80名が参加)